



英国で、子どものペスターパワー(Pester Power)がますます強力になってきている背後には、子どものメディア接触の急激な増加があると指摘される。BBCの調査で子どものメディア接触実態が

明らかになった。今月のInsightではその概略を紹介する日本の状況を比較されたい。

### 今どき英国の小学生(6~12歳)はどんな子ども?!

- ❖ 英国には6~12歳の子どもが約5万人いる。これは人口の9%に当たるが、出生率の低下とともに今後さらに減少すると予測される。
- ❖ 子ども80%はカップルによるふたりの親と共に生活している。5人に1人はシングル・ペアレントと生活しており、この率は1981年以降ほぼ2倍に膨らんでいる。
- ❖ 子どもたちはますます人種、民族、宗教的に多様化した環境で生活している。
- ❖ 30年前と比較して、貧困が広まってきている。70年代初期にはわずか10人に1人が貧困家庭で生活していたのに対し、今では3人に1人が貧困家庭に生活していると分類される。
- ❖ 子どもたちの寝室には自分のラジオ、テレビ、ゲーム機などのあらゆるガジェットがたくさんある。
- ❖ 両親が新しくDVDプレイヤーを購入することで、いらなくなったリビングルームのビデオレコーダーが子どもの寝室へと移動し、ビデオが子どもの生活の欠かせない一部となっている。
- ❖ 子どもたちは多額のキャッシュを持ち歩いているわけではないが、お小遣いをねだるパワーが強化している。7~16歳の子どものお小遣いの平均は週に5.79ポンド(1ポンド=200円弱)である。

### 英国の小学生のメディア接触

- ❖ 約70%の子どもがマルチ・チャンネルのある家庭で生活している。裕福でない家庭ほど、マルチ・チャンネルが浸透している。
- ❖ マルチ・チャンネルの番組のチョイスは非常に幅広く、マルチ・チャンネルを持っている家庭の子どもテレビ視聴の41%はマルチ・チャンネル番組である。
- ❖ マルチ・チャンネルを持つ家庭の子どもはそうでない子どもと比較して、より長い時間テレビを視聴する。週に平均16チャンネルを視聴している。
- ❖ 子どもたちは、学校から戻るとすぐにテレビのスイッチを入れ、そのままずっとテレビはついたままである。本格的に視聴するのは夜である。
- ❖ 彼らはチャンネルを探索するというよりは、特定の番組を求めて探索する。
- ❖ 半数以上の子どもの寝室にはテレビがある。ビデオを寝室に持つ子どもは約3人に1人である。
- ❖ 地上波テレビのみの家庭の子どもは、マルチ・チャンネルを持つ家庭の子どもと比較して頻繁にBBCの番組を見ている。
- ❖ ほぼ50%の子どものいる家庭にはインターネット・アクセスがある。これは子どものいない家庭と比較して10%ほど高い。
- ❖ 子どもたちは、インターネットを使ってゲームをしたり、学校と関係のあるサイトを訪問したり、テレビ番組と関連のあるサイトを見る傾向にある。
- ❖ 携帯電話の使用が浸透してきている。中学生の約60%、小学生の20%は携帯電話を所持している。両親が安全性を確保するため子どもにいつでも連絡がとれるよう、携帯電話を買い与えるケースが多い。